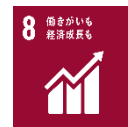


わかやまの農業担い手育成支援プロジェクト



現状・課題

- 和歌山県は、気候や風土、地形などの特徴を生かし、全国トップクラスの果樹産地として発展。
- 農業者の高齢化や担い手不足により産地の縮小が懸念される。
- 新規就農者を呼び込むため、県内外の就農相談フェア等で、和歌山県の農業の魅力について情報を発信。就農希望者には研修制度を準備し、受け入れ態勢を整えている。
- 親元就農者なども含めた幅広い担い手の確保・育成が重要。

取組

農業の担い手を確保・育成し、和歌山県の農業の活性化を図る

● 優れた農業技術者と農業後継者の育成

- ・和歌山県農林大学校や就農支援センターにおいて、栽培に関する基礎的な学びや、技術の習得を支援します。

● 和歌山県での就農希望者に向けた支援

- ・都市部や県内において、市町村や農業関係団体とともに就農相談会を開催し、新規就農者の呼び込みを図ります。
- ・就農支援サイト「AGURI－WAKAYAMA」により、相談会の案内や産地受入協議会など就農支援情報を発信します。

● 産地での就農希望者受入促進

- ・就農を希望する地域で、産地受入協議会による就農に向けた研修を支援します。
- ・産地での受入をスムーズに行うために、産地受入協議会の活動促進を図ります。

● 新規就農者の定着や親元就農者等への支援

- ・産地受入協議会で研修を受けた新規就農者に対して、農機具等の整備を支援します。
- ・地元に戻り、家業の農業を継承するなどの親元就農等を促進し、地域の活性化を目指します。



● 経営拡大や経営力向上に向けた支援

- ・経営発展に向けた農業経営塾を開催し、経営感覚に優れた農業者の育成を目指します。
- ・農地の集積を図るなど、一定以上の経営規模拡大を目指す農業者の取り組みを支援します。

寄附金の使途

就農相談会出展運営費、産地受入協議会支援にかかる経費、経営継承応援資金に係る経費、農業経営塾実施運営にかかる経費、農業経営規模拡大支援に係る経費、農林大学校、就農支援センター運営に係る経費 等